

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	間伐材でチエンソーアートを楽しむ事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 矢作川源流の森ねば (原 小夜子 0265-49-2120)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,487,513円 (うち支援金: 1,436,000円)

事業内容

- チエンソーアート作品を作って、多くの老若男女が楽しめる機会を持ち、県内外の住民との交流を深め、山村での生活や森林に対する協働意識を高め、同時に物づくりの楽しみを味わう。
- 村内の若者を中心に希望者を募り、村内で唯一チエンソーアートの作品づくりをしている方を講師として、チエンソーアーティストを育成し、県内外のイベントに積極的に参加して、間伐材を利用したチエンソーアートで、地域住民と県内外住民が間伐材の有効利用を具体的にできる例となり、物づくりの楽しみと若者の交流を深める。



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- 山に放置されている間伐材を利用して、チエンソーアートで小物や動物などを自由に作り、数多い練習用に使用する間伐材も多く、山の整備が進みました。
- 村外からも興味のある方が参加されましたが、多くは、村内の山林作業員のIターンの若者で、チエンソーアートをすることで、チエンソーの扱いも慣れ、山林作業においても効率よく作業ができるようになりました。
- 村の天然記念物の「ネバタゴガエル」のチエンソーアートも数多く村内に設置され、「ネバタゴガエル」のいる村として、来村者も増え村の活性化にも貢献も出来ました。村内の作品を見て、注文も増えつつあります。今後多くのチエンソーアーティストの育成が期待されます。

【目標・ねらい】

- 間伐材の有効利用
- チエンソーアートで仲間作り
- チエンソーアーティスト育成
- 森林づくりの協働意識の向上

自己評価 (目標達成率) 【 B 】

今後の取り組み

今後も引き続き講習会を開きながら、多くの人達がチエンソーアートを楽しみ、商品化できる作品作りに取り組む。また、村内外のイベントにも積極的に参加して、根羽スギの間伐材をチエンソーアートの材料としての付加価値をつけ利用推進を図る。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。